



2023年10月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年9月8日

上場会社名 くら寿司株式会社
コード番号 2695 URL <https://www.kurasushi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長
四半期報告書提出予定日 2023年9月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 072-493-6189

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第3四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	155,067	15.1	376		170		649	
2022年10月期第3四半期	134,756	21.8	382		2,989	111.6	1,711	121.0

(注) 包括利益 2023年10月期第3四半期 149百万円 (%) 2022年10月期第3四半期 4,054百万円 (326.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第3四半期	16.35	
2022年10月期第3四半期	43.14	43.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第3四半期	124,703	67,410	41.8
2022年10月期	109,621	58,967	45.8

(参考) 自己資本 2023年10月期第3四半期 52,152百万円 2022年10月期 50,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期		0.00		20.00	20.00
2023年10月期		0.00			
2023年10月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	209,000	14.2	3,000		3,100	26.2	1,100	47.7	27.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期3Q	41,399,600 株	2022年10月期	41,399,600 株
期末自己株式数	2023年10月期3Q	1,651,727 株	2022年10月期	1,655,857 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年10月期3Q	39,744,533 株	2022年10月期3Q	39,676,330 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年11月1日から2023年7月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へ移行したことに伴い、個人消費やインバウンド需要に回復の動きが見られました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やエネルギー価格の上昇、円安に起因する物価上昇や人手不足に伴う賃金上昇など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、コロナ禍の収束に伴い、人流が改善するなどの回復傾向がみられる一方で、コロナ禍を通じた生活様式の変化や節約志向の高まりも顕在化してきております。また、原材料価格や物流費、人件費、光熱費の上昇といったコスト増の影響もあり、厳しい経営環境が続いております。加えて、いたずら動画の拡散が社会問題化し、お客様の食の安心・安全に対する要請も一段と厳しい状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、抗うつ寿司カバーを始めとする安心・安全に関するさまざまな取り組みを行いながら、回転レーンを通じて、回転寿司本来の手軽さと楽しさを追求してまいりました。

店舗開発につきましては、国内20店舗、米国6店舗、台湾4店舗に加え、中国大陸初となる1号店を上海に出店し、計31店舗を出店いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、全て直営で641店舗(「無添蔵」4店舗、「くら天然魚市場」1店舗、米国46店舗、台湾51店舗、中国大陸1店舗を含む)となりました。

セグメント業績は次の通りであります。

① 日本

売上高1,216億69百万円(前年同期比8.4%増)、経常損失11億4百万円となりました。期初から新型コロナウイルス感染症第8波による人流の減少や、飲食店における迷惑行為の影響を受けましたが、コロナ禍の収束に伴い、回復基調となりました。人流が回復してきたことに加え、コストアップに対応するため、商品ごとにきめ細かく適正な価格を設定させていただいたことが奏功し、収益面の改善に貢献いたしました。販売面におきましては、4月から地域の旬の地魚を毎週お楽しみいただける「くらの逸品シリーズ」を本格導入し、7月より取り扱いを全国に拡大しております。また、「かに」「まぐろ」など人気の高い商品を中心としたフェアを展開したことに加え、人気バーチャルライバーグループ「にじさんじ」とのコラボレーションによるグッズプレゼント等のキャンペーンを実施したことにより、当第3四半期連結累計期間における売上高は過去最高となりました。

店舗展開につきましては、「ジャパンカルチャー」を世界に発信する「グローバル旗艦店」として、日本国内5店舗目(関西2店舗目)となる、「なんばパークスサウス店」を7月にオープンいたしました。都市部を中心に、急速に回復するインバウンド需要の取り込み強化を図っております。

いたずら動画等の迷惑行為への対策として、AIカメラによる新システムを開発し、全店で導入を完了しております。また、お客さまが入れ替わるごとに、醤油差しなどの備品も入れ替えており、安心、安全に食事ができる環境を整備しております。これらの対策を通じ、今後も、お寿司が回るエンターテインメント性を守り、回転寿司本来の“楽しさ”を提供してまいります。

② 北米

米国子会社 Kura Sushi USA, Inc. (KSU) におきましては、売上高181億92百万円(前年同期比56.7%増)、経常損失1億79百万円となりました。米国経済が堅調に推移したことに加え、期初より出店を継続してきたことが奏功し、当第3四半期連結会計期間は売上高、収益面ともに好調に推移いたしました。期初からの店舗展開につきましては、2022年11月の全米最大級のショッピングモール「モールオブアメリカ」への出店をはじめ、ジャージーシティ、フィラデルフィア、エジソン、オークブルックテラス、ビューフォードに出店し、当第3四半期連結会計期間における経常利益は黒字となりました。

③ アジア

アジアにおきましては、売上高152億5百万円(前年同期比39.4%増)、経常利益は11億13百万円となりました。

台湾子会社 亞洲藏壽司股份有限公司(KSA)では、新型コロナウイルス感染症による影響は無くなり、消費の回復傾向から売上高は順調に推移いたしました。販促面におきましては、人気キャラクター「リラックマ」とのタイアップや、人気アニメ「鬼滅の刃」のグッズを採用するなどの取り組みを継続いたしました。また、2023年5月には海外店初となるグローバル旗艦店である「高雄時代大道店」をオープンし、当第3四半期連結累計期間の業績は前年同期比増収増益を達成しております。

上海藏壽餐飲管理有限公司(KSS)では、2023年6月に中国大陸での1号店となる「龍之夢中山公園店」を開店いたしました。内外のメディアにも取り上げられ、話題性とともにも営業をスタートしております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,550億67百万円、経常損失1億70百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は6億49百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、1,247億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して150億81百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が34億90百万円、売掛金が11億3百万円、有形固定資産が82億20百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して66億38百万円増加し、572億93百万円となりました。これは、主に買掛金が16億28百万円、リース債務が28億78百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失6億49百万円を計上し、配当金の支払い7億94百万円を行いました。また、連結子会社の増資等に伴い資本剰余金が30億86百万円、非支配株主持分が61億90百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して84億43百万円増加し、674億10百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月12日に公表いたしました業績予想につきまして、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,169	16,659
売掛金	4,642	5,745
有価証券	—	1,326
原材料及び貯蔵品	2,410	2,781
その他	2,895	2,935
流動資産合計	23,118	29,447
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	31,321	34,414
使用権資産(純額)	20,690	23,524
その他(純額)	20,257	22,551
有形固定資産合計	72,269	80,490
無形固定資産		
1,251	1,489	
投資その他の資産		
長期貸付金	4,687	4,766
差入保証金	6,710	6,891
その他	1,583	1,617
投資その他の資産合計	12,982	13,276
固定資産合計	86,503	95,255
資産合計	109,621	124,703
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,609	8,238
短期借入金	—	466
未払金	7,566	7,999
未払法人税等	587	419
その他	7,798	8,874
流動負債合計	22,561	25,998
固定負債		
リース債務	24,196	27,074
資産除去債務	2,731	2,924
その他	1,164	1,295
固定負債合計	28,092	31,294
負債合計	50,654	57,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005	2,005
資本剰余金	7,814	10,900
利益剰余金	40,265	38,781
自己株式	△2,020	△2,003
株主資本合計	48,064	49,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△0
為替換算調整勘定	2,193	2,468
その他の包括利益累計額合計	2,193	2,468
新株予約権	787	1,145
非支配株主持分	7,921	14,112
純資産合計	58,967	67,410
負債純資産合計	109,621	124,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
売上高	134,756	155,067
売上原価	61,177	69,118
売上総利益	73,578	85,949
販売費及び一般管理費	73,961	86,326
営業損失(△)	△382	△376
営業外収益		
受取利息	41	129
受取手数料	125	124
為替差益	190	7
助成金収入	3,094	21
雑収入	101	132
営業外収益合計	3,552	414
営業外費用		
支払利息	163	193
雑損失	17	14
営業外費用合計	180	207
経常利益又は経常損失(△)	2,989	△170
特別損失		
固定資産除却損	27	69
減損損失	18	26
特別損失合計	46	96
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,943	△266
法人税、住民税及び事業税	828	459
法人税等調整額	330	△287
法人税等合計	1,158	172
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,784	△438
非支配株主に帰属する四半期純利益	72	211
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,711	△649

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,784	△438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△0
為替換算調整勘定	2,269	589
その他の包括利益合計	2,269	588
四半期包括利益	4,054	149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,015	△375
非支配株主に係る四半期包括利益	1,038	525

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計	
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	112,237	11,611	10,907	134,756	134,756
外部顧客への売上高	112,237	11,611	10,907	134,756	134,756
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	112,237	11,611	10,907	134,756	134,756
セグメント利益又は 損失 (△)	2,454	△311	846	2,989	2,989

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計	
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	121,669	18,192	15,205	155,067	155,067
外部顧客への売上高	121,669	18,192	15,205	155,067	155,067
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	121,669	18,192	15,205	155,067	155,067
セグメント利益又は 損失 (△)	△1,104	△179	1,113	△170	△170

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失と一致しております。